

中症状が出る人も少なくないのです。

◆ 9月～10月の秋期にかけて増加する空中真菌（カビ）
生活環境には多種類の真菌が存在し、様々なアレルギー症状を起すことが知られています。
アレルギー症状の原因となる真菌は、大きく分けて室内外の環境中に存在する空中真菌と、ヒトの皮膚に常在する寄生菌があります。
空中真菌の発生しやすい環境は、高湿、20～30℃の温度、有機物の多い汚れ、長期間利用のない場所、空気の滞留する場所、ホコリの多い場所、結露した場所等があげられます。3)
近年、住居の気密性が高くなったために湿度が高くなり、カビが発生しやすい環境となっています。
空中真菌の発生時期は、室内外ともに4月～11月で、5～7月の梅雨時期と9～10月の秋期をピークとし、冬期は少ないとされています。3,4)
空中真菌の胞子は5μm前後で、多くが下気道まで到達するため気管支喘息、過敏性肺炎などの原因となりますが、胞子が大きいアルテルナリアは鼻にも沈着することからアレルギー性鼻炎の原因にもなります。3)

参考文献

- 1) 鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性鼻炎と花粉症—2005年版（改訂第5版）
- 2) 厚生労働省大臣官房集計情報部：平成15年保健福祉動向調査の概況 アレルギー様症状：厚生労働省ホームページ
- 3) 高鳥浩介：生活環境中の真菌とその生態：アレルギー 2005；54；531.
- 4) 高鳥美奈子ほか：最近10年間の相模原地区における空中飛散真菌：アレルギー 1994；43；1.

2 クラミジア・淋菌の咽頭感染には遺伝子検査を。

クラミジア・淋菌は、のどにもうつる病気です。
性感染症は性器だけにうつるもの、と思いませんか？性交渉時のオーラルセックスを通じて、クラミジア・淋菌（CT/NG）が、咽頭へ感染する人が増えてきています。
これから、性感染症の咽頭感染の可能性も疑い、検査・治療を進める必要があります。
患者さんにこんな症状があったら、クラミジア・淋菌（CT/NG）の咽頭感染を疑ってください。
・のどにいたみがある
・かぜの処方薬が効かない
・パートナーが性感染症と診断された
クラミジア・淋菌の検査には、遺伝子検査がおすすめです。
咽頭には常在性のナイセリア属細菌が存在しており、淋菌（ナイセリア・ゴノレア）がこれらの常在性の同属細菌から薬剤耐性を獲得することがあるといわれています。
そのため淋菌の培養検査は、薬剤耐性淋菌の判定に重要な役割を担っています。
しかし、咽頭検体を用いた遺伝子検査で淋菌感染と診断された症例において、同一検体の培養検査の結果は26%の検出率でした。
つまり培養検査だけでは不十分であり、より感度・特異性の高い遺伝子検査を用いるべきと考えられます。

クラミジア・淋菌 検査手帖

<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/PCR2016-09.pdf>

「おしえて STI」

<https://oshiete-sti.jp/>

参考：KML INFORMATION 24-21

<https://www.kml-net.co.jp/pdf/2012-1225.pdf>

検査項目 : PCRクラミジア
採取部位 : 初尿・うがい液・ぬぐい液
容器番号 : 38

保存方法 : 冷蔵
検査実施料 : 204 点
所要日数 : 2 ~ 4 日
基準値 : (-)

検査項目 : PCRゴノレア
採取部位 : 初尿・うがい液・ぬぐい液
容器番号 : 38
保存方法 : 冷蔵
検査実施料 : 204 点
所要日数 : 2 ~ 4 日
基準値 : (-)

検査項目 : PCR同時検査
採取部位 : 初尿・うがい液・ぬぐい液
容器番号 : 38
保存方法 : 冷蔵
検査実施料 : 286 点
所要日数 : 2 ~ 4 日
基準値 : (-)

[3] 川崎市内分泌代謝Update

7/27 (水) にホテル精養軒 武蔵小杉において
『川崎市内分泌代謝Update』が開催されました。

詳細はホームページを参照して下さい。
<http://www.kml-net.co.jp/topix.htm>

[4] 学術研究発表

2016年9月3・4日に兵庫県 神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場で行われました「第65回 日本医学検査学会」において弊社技師が発表を行いましたので紹介させていただきます。

【演題】
SCC 抗原測定試薬の導入時、基礎的検討

【はじめに】
扁平上皮癌関連抗原 (squamous cell carcinoma related antigen : SCC) は子宮頸部扁平上皮癌組織から精製された分子量 44.5kDa の蛋白質であり、扁平上皮の存在する部位に重症疾患が存在すれば血中濃度は上昇する。今回我々は、Eテスト「TOSOH」2(SCC)を使用する機会を得、基礎的検討を行ったので報告する。

詳しくは、下記 URL をご参照下さい。
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/SCC2016-09.pdf>

[5] KMLインフォメーション 7月～9月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2016年 8月19日 検査一時受託中止のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0819.pdf>

2016年 9月13日 検査内容変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0913.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

= = = = = □ ■